

みんなでつくる! 未来の学校

第四中学校区小中一貫校を
考えるワークショップ

Newsletter Vol.1
2022/2 発行



第1回「小中一貫校を学ぶ」

2021/12/21 (火) 19:00~21:00

門真市教育センター 研修室 A

参加者: 30名

発行元: 門真市教育委員会



ワークショップ「スクールツクール」について

スクールツクールで検討する内容について説明しました。スクールツクールは、学校の「整備」を考える場になります。小中一貫校の整備事業ではスクールツクール以外にも、学校の「運営」を考える準備会や、子どもたちに新しい学校のイメージを聞く場、先生方が学校の施設について意見交換する場があります。このスクールツクールでは、学校の整備に向けたコンセプトを考えていくにあたり、地域の人も関わって、みんなで様々な事例を学びながら考えていきます。

スクールツクールの目的

砂子小学校、脇田小学校、第四中学校が
ひとつになった小中一貫校の実現

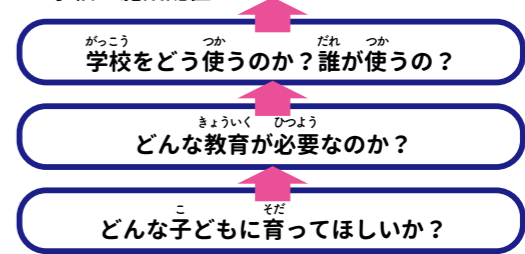
子どもたちが9年間過ごす
新しい学校の整備を検討する場

- ・学校校舎の配置
- ・子どもたちの学習空間
- ・学校内に必要な設備や備品
- ・先生たちの職場環境
- ・地域と学校との連携



子どもたちの学習環境を考える

今年度の目標
大きな整備方針 → コンセプト
学校に持たせる機能
学校の施設配置



みなさんと事例などを
学びながら考えます

門真市教育委員会 教育長挨拶

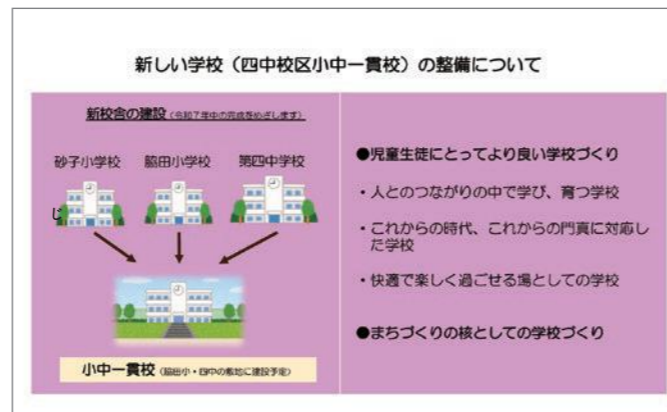
私がこの事業に対して持っている思いが3つあります。1つめは、市民の皆さんと素晴らしい学校をつくって、地域の核となる学校を目指すこと。2つめは、早く子どもたちに素晴らしい学習環境を与えてあげられるよう進めること。3つめは、リーディングプロジェクトとして、先駆的な役割をはたすものにする予定です。「教育からまちを変える」という思いを持って、みなさんと一緒に進めていきたいと思っています。



門真市教育委員会 久木元 教育長

第四中学校区小中一貫校の整備について

教育委員会より整備の概要に関する説明を行いました。脇田小学校・砂子小学校・第四中学校を統合し、令和7年中の校舎完成に向けて小中一貫校をつくりまします。また、新しい学校の整備に向けては、「児童にとってより良い学校づくり」「まちづくりの核としての学校づくり」を目指していきます。



小中学校の思い出自己紹介

学校整備の先進事例を見ながら、それぞれの参加者が「いいな!」と思った事例の写真にシールをはりました。その後、シールをはった理由と小中学校の思い出を交えて、テーブル内で自己紹介をしました。



参加者のみなさんが

いいな!と思った事例トップ5

先進事例の写真の中で多くのシールが集まった、5つの事例を紹介します。



1 開放的で居心地のよい図書室 (京都市・開晴小中学校)



2 しゃべったり遊んだり休み時間に賑わう廊下 (京都市・凌風小中学校)



3 空調を完備した体育館 (守口市・さつき学園)

4 部活動ができる屋上空間 (京都市・凌風小中学校)

5 学校に関わる地域住民が使う地域支援室 (守口市・さつき学園)

いけんこうかん あたら がっこう かんが
意見交換「新しい学校でできそうなことを考えよう！」

けっか きょうかん き えら
ヒアリング結果をまとめたカードから共感したり気になるカードを選び、それぞれ
さんかしゃ えら ない きょうゆう ないよう おう あたら
の参加者が選んできたカードをグループ内で共有しました。内容に応じて、新しい
がっこう じれい しんこうやく しょうかい かどま
学校でできるとよさそうな事例をファシリテーター（進行役）が紹介しつつ、門真
あたら がっこう いけんこうかん
の新しい学校でできそうなことを意見交換しました。

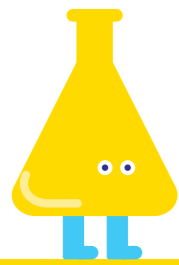


けっか し
■ ヒアリング結果を知ろう！

さきだ がっこう ほごしゃ ちいき がっこうかんけいしゃ
ワークショップに先立ち、学校や保護者、地域など、22の学校関係者に
じっし けっか こま ふあん がっ
ヒアリングを実施しました。その結果を「困っていること・不安なこと」「学
こう ちいき とく かんが
校や地域の取り組み」「これからやってみたいこと・考えたいこと」の3
しゅるい てんじ
種類にわけ、カードにしてパネルに展示しました。



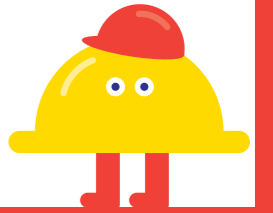
は ん
1 班



ちいき ほごしゃ おとな がっこう せっきょくてき かか たいせつ くに
地域や保護者など大人が学校に積極的に関わることの大切さ、さまざまな国とつながり
こ しえん そうごりかい こ さまざま けいけん
のある子どもたちへの支援や相互理解、子どもたちに様々なことを経験させたいという
いけん
意見ができました。

ちいき れんけい おや せんせいがい おとな かんけい ぶかつ かつどう しどう ちいき こうれいしゃ かか
地域との連携（親や先生以外の大人との関係づくり／部活やクラブ活動の指導／地域や高齢者との関
ふ みんかんきぎょう さんにゅう けんどう こ きかい ていきょう ちゅうがくせいしょうがくせい こうりゅうきかい
わりを増やす／民間企業の参入の検討）・子どもたちへの機会の提供（中学生と小学生の交流機会を
ふ としょかん ちいきかいほう かのうせい けんどう がくりょく きそがくりょく そこあ じっしakai い
増やす／図書館を地域開放する可能性を検討）・学力について（基礎学力の底上げと実社会を生きる
ちから がっこう ほごしゃ かんけいせい しょうちゅういっかんこう じれい まな
力をつけてほしい）・学校と保護者の関係性をつくりたい・小中一貫校のいろいろな事例を学びたい

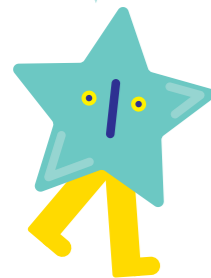
は ん
2 班



ちいきれんけい かん いけん ぜんたい ぶん し つぎ がくりょく かにい もん
地域連携に関する意見が全体の3分の2ほどを占めました。その次に学力や家庭の問
だい つ しょうちゅういっかんこう し ひつよう かくにん
題があがり、次いで小中一貫校について知る必要があることを確認しました。

ちいき れんけい がっこう ちいき がっこう ふたん がっこう ちいきれんけい
地域との連携（学校と地域をつなぐしくみづくり／学校の負担にならない学校ー地域連携／
とく れんけい ひろば つか ていあん けんどう がくりょく か
レンコンをテーマにした取り組みで連携／広場でボールを使うための提案を検討）・学力や家
てい もんだい そうごうがくしゅう じかん じょうず つか こ どうし たいわ まな じかん げんしょう
庭の問題（総合学習の時間を上手に使いたい／子ども同士が対話しながら学ぶ時間が減少／
きそがくりょく にんげんりょく たか きょういく てんかい しょうちゅういっかんこう し
基礎学力だけではなく、人間力を高める教育を展開）・そもそも小中一貫校について知ること
たいせつ
が大切

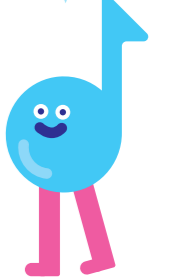
は ん
3 班



がっこう ちいき こうりゅう せだいかん こうりゅう ひつよう いけん こ そんざい
学校と地域の交流や世代間の交流が必要という意見や、子どもたちのあこがれの存在、
もくひょう おとな みちか だいじ いけん
目標になるような大人が身近にいることが大事だという意見がありました。

がっこう ほごしゃ ちいき れんけい ちいき ひと がっこう かか ちく まつ けいき ちいきかつどう
学校と保護者、地域との連携（地域の人が学校に関わるしくみ／地区のお祭りを契機とした地域活動の
かつぱつか じちかいかつどう さんか かんきょう こ さまざま けいけん きかい い かつ
活発化／PTAや自治会活動に参加しやすい環境）・子どもたちが様々な経験をjする機会づくりと生き方
もくひょうせってい みちか あこが そんざい かんきょう きそがくりょく そこあ こ みまも がっこうかいほうちゅうがく
の目標設定（身近に憧れの存在が環境／基礎学力の底上げ）・子どもたちの見守りや学校開放（中学
せい しょうがくせい こうりゅうきかい ふ しんらい おとな がっこう ちいき おとな た よ がっこう
生と小学生の交流機会を増やす／信頼できる大人が学校にいるしくみ／地域の大人が立ち寄る学校）・
しょうちゅういっかんこう さまざま かつどう くうかん うんどうじょう ようす み たてものはいち
小中一貫校について（様々な活動ができる空間づくり／どこからでも運動場の様子が見える建物配置）

は ん
4 班



ちいきれんけい こ みまも がくりょくもんだい べつ ちいき き みりょく
地域連携・子どもの見守り・学力問題のほか、別の地域から来てもらえるような魅力
こ ほこ も がっこう いけん
があり、子どもたちに誇りを持ってもらえるような学校にしたいとの意見ができました。

ちいき れんけい こ ちいき かか きかい も ほごしゃ ふたん れんけい しゅくだい
地域との連携（子どもたちと地域が関わる機会を持つ／保護者の負担にならない連携／宿題
だんち じっしゅう こ みまも こ あんしん す ぼしょ あんしんあん
カフェを団地で実施中）・子どもの見守り（子どもが安心して過ごせる場所をつくる／安心安
ぜん かんが がくりょく きそがくりょく そこあ しゅたいてき とく ちから
全を考えたい）・学力について（基礎学力の底上げ／主体的に取り組み力をつけてほしい）・
くに ひと かんけい こ ほこ も がっこう
さまざまな国とつながりのある人との関係づくり・子どもたちが誇りを持てるような学校に
こうつう べん わる みりょく も がっこう ちいき とくさんびん とくちよう い
したい（交通の便の悪さをこえる魅力を持つ学校にしたい／地域の特産品や特徴を入りたい）

は ん
5 班



こ がくりょくこうじょう けいけん と く ひつようせい あんしんあんぜん かくほ かん
子どもたちの学力向上や経験につながる取り組みの必要性や、安心安全の確保に関す
いけん ちいきれんけい じゅうよう いけん
る意見があり、そのためにも、地域連携が重要であることの意見がありました。

がくりょく こうじょう い ちから しゃかいけいけん がくりょく そこあ がっこう じっしや
学力の向上、生きる力をつけるための社会経験について（学力の底上げ／いじめのない学校づくり／実社
かい そく さまざま けいけん ちいき じつじょう ふ たいおう がっこう す かつ こ あそ ば
会に即した様々な経験／地域の実情を踏まえた対応）・学校での過ごし方について（子どもたちの遊ぶ場
しょ いばしょ かくほ あんしん りょう あめ あそ くうかん ちいきこうりゅう すなご
所や居場所の確保／安心して利用できるトイレ／雨でも遊べる空間づくり）・地域交流について（砂子と
わきた こうりゅう がっこう ちいき かんけい はたら ひと さんか とく ちいき こ ぞだ
脇田の交流／学校と地域の関係づくり／働いている人も参加しやすい取り組み／地域で子どもを育て
あんしんあんぜん つうがくろ あんぜんかくほ じゅんぴかい ぎろん こ あんぜん がっこう ちいき れんけい ひつよう
る）・安心安全について（通学路の安全確保は準備会で議論／子どもの安全には学校と地域の連携が必要）

けっか
アンケート結果より

だいよんちゅうがっこうしょうちゅういっかんこうせいび し
Q. 第四中学校区小中一貫校整備について知りたいことを
おし
教えてください。

- 1 ちいきれんけい かのうせい
地域連携の可能性
- 2 ねんかん ちょうき きょういく
9年間という長期スパンの教育のメリット
- 3 かんきょう あ じどう たいおう
環境が合わない児童への対応

こ がっこうせいかつ なか じつげん
Q. 子どもたちの学校生活の中で実現すればいいなど
かん おし
感じたことを教えてください。

こ どうし こうりゅう ちいき ひと てい ぼしょ
子ども同士の交流／地域の人も出入りできる場所／
ひろひろ か ほこ も こうしゃ あんぜん あんしん
広々としたろう下／誇りを持てる校舎／安全と安心
だいがく れんけい きょういく
／大学と連携した教育

じかい
次の
案内

せんしんこうしきつつかい
先進校視察会
2022/1/12（水）
しきつぱしよ りょうふうしょうちゅうがっこう きょうとふきょうとし
視察場所：凌風小中学校（京都府京都市）

だい かい こ きょういく かんが
第2回「子どもたちの教育を考える」
2022/2/16（水）19:00~21:00